

新 年度評価のイメージ

平成30年度  
公立大学法人熊本県立大学  
業務実績評価書

平成31年8月  
熊本県公立大学法人評価委員会

# 1 全体評価

平成30年度は、公立大学法人熊本県立大学の第3期中期目標期間（平成30年4月1日～平成36年3月31日）の初年度で、第3期中期計画の重点目標としている「教育の質の向上」、「熊本地震からの復興支援を含めた地域に貢献する教育研究の推進」及び「グローバル化の推進」について様々な取組を開始し、中期計画の達成に向けて順調にスタートした。

教育については、・・・（取組の成果を記載）・・・・・・・・

研究については、・・・（取組の成果を記載）・・・・・・・・

地域貢献については、・・・（取組の成果を記載）・・・・・・・・

国際交流については、・・・（取組の成果を記載）・・・・・・・・

また、十分な成果が得られなかった点としては、・・・（課題と評価された取組を記載）・・・・が挙げられる。

## 2 項目別評価

コメントはH28年度評価を引用

### (1) 「大学の教育研究等の質の向上」

#### 教育

【顕著】 平成28年熊本地震の発災を受け、「もやいすと育成プログラム」全体を震災復興をテーマとしたものに組み換え、・・・今後の復興のキーパーソンの育成に役立つと期待され、高く評価できる。

【顕著】 新たな管理栄養士国家試験対策委員会を立ち上げ、学生の指導案の見直しを行った。その結果、合格率100%を達成したことは、高く評価できる。

「着実」 国における新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた一体的改革の動きを踏まえ、既に策定・公表していた3つのポリシーを見直し、大学の個性や特色を反映した入学者選抜の実施方法、学修成果の評価の在り方、学位授与の具体的基準等を盛り込み、新たな3つのポリシーを策定・公表したことは、評価できる。

〔注目〕 正課の授業科目とは別に、地域課題の解決に実践的に取り組む、学生主体の研究プロジェクトである「KUMAJECT」については、平成28年度も「人吉市鍛冶屋町通りプロジェクト」や「相良村地方創生プロジェクト」等5市町村の地域課題の解決に取り組んだ・・・であり、高く評価できる。

《課題》 キャップ制の必要性については、各学部で検討を行い、代替措置を含め改善を図っているが、平成28年度に受けた大学基準協会による認証評価において、努力課題として、一部の学部・学年におけるキャップ制の未導入が挙げられており、再検討のうえ、早急な対応が求められる。

以降、研究、地域貢献、国際交流、業務運営等についても同様に記載する。

平成30年度業務実績報告書にかかる評価一覧表

内容はH28年度評価を引用

評価基準	計画の番号と評価事項【計26項目】 四角囲みの番号は、中期計画及び年度計画の番号
<p>顕著な取組・成果 【顕著】 10項目</p>	<p>3 「もやいすと育成プログラム」全体を震災復興をテーマとしたものに組み換えて実施。また、全一年生500人超がボランティアを経験</p> <p>7 農林水産省主催の第1回食育活動表彰(教育関係者・事業者部門)において、「農林水産大臣賞」を受賞</p> <p>13 第30回管理栄養士国家試験の合格率100%達成</p> <p>24 「もやいすと育成プログラム」に「スーパーレベル」を位置付け</p> <p>26 55 科学研究費補助金への教員の応募率100%達成(4年連続)</p> <p>29 熊本地震からの「創造的復興」に寄与するためCPD講座を開講</p> <p>33 地域志向教育研究事業で、熊本地震からの復興に寄与する研究テーマを重点的に取り上げ研究を実施</p> <p>39 「ボランティアステーション」を立ち上げ、学生を支援</p> <p>40 通常授業料減免率の引き上げと被災した学生の授業料等の減免を実施</p> <p>62 1,400人の避難者の受入れと不測の事態に備えた訓練</p>
<p>独自の取組 独自 1項目</p>	<p>25 福岡女子大学と日本語日本文学分野における学術連携協力協定を締結</p>
<p>新たな取組 (新規) 2項目</p>	<p>33 「地域活力創生センター」を学内に開設、COC+事業を牽引</p> <p>36 チャタム大学と学術交流協定の締結、「トビタテ!留学JAPAN」採用</p>
<p>着実な取組・成果 「着実」 8項目</p>	<p>7 学生向け食育活動や「くまもと食育ガイドブック」の制作</p> <p>8 17 高大接続の実現に向けた新たな3つのポリシーを策定・公表</p> <p>15 44 就職率96.6%(男女共学化以降の最高値更新)</p> <p>34 包括協定団体やCOC連携自治体と連携した研究の継続的な実施</p> <p>35 震災に関連した講座を新設し、地域ニーズに対応した教育の提供</p> <p>46 熊本女子大学時代を中心とする歴史資料等の収集</p> <p>54 授業料納期の2期制移行初年度も分割納付制度の周知等により全額納付</p> <p>57 平成28年度エコ・アクションプランに基づき経費削減を実施</p>
<p>報道等から注目された (注目) 3項目</p>	<p>5 リサーチプロジェクト「KUMAJECT」の10年にわたる取組</p> <p>33 復旧・復興に向けた大学の役割についてシンポジウムを開催</p> <p>37 外交・国際関係の第一人者を招いた国際関係シンポジウムの3年連続開催</p>
<p>改善が望まれる取組 (課題) 2項目</p>	<p>2 大学院の学生数確保</p> <p>23 キャップ制の完全導入</p>